

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	45	沖縄平和啓発(継承)プロモーション事業			新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(1)-イ-①			
担当部課名	子ども生活福祉部女性力・平和推進課		事業実施(予定)年度	R1 ~ R13 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	平和学習の推進及び次世代への継承 Ⅲ-7		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを県内6回、県外3回開催 ・シンポジウムを首都圏等で1回開催 ・証言者20名の映像収録・編集及びWEB公開 ・沖縄、広島、長崎、韓国・台湾・ベトナム・カンボジアの若者たちによる共同学習を実施 								
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()								
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度			
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	69,631	-	81,098	-	63,995		
		(b)予算現額	69,631	-	81,098	-	63,995		
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	0		
		(d)前年度繰越額	-	-	-	-	-		
		A. 計(b+d)	69,631	-	81,098	-	63,995		
	B. 執行済額		64,927	-	67,621	-	55,903		
	うち交付金充当額		51,942	-	54,097	-	44,722		
	C. 次年度繰越額		0	-	0	-	0		
	執行率(%) (B/A)		93.2%	-	83.4%	-	87.4%		
予算の状況の説明		<input checked="" type="checkbox"/> 執行率は87.4%であり、主な不要の理由は「戦後の戦争体験者証言映像の多言語編集及びWEB公開業務」において、一般競争入札の入札残が発生したためである。							
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況						
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度			
	①ワークショップの開催(県内6回、県外3回)	目標			9回(県内6回、県外3回)	9回(県内6回、県外3回)	9回(県内6回、県外3回)		
		実績			8回(県内7回、県外1回)	9回(県内7回、県外2回)	18回(県内6回、県外12回)		
	②シンポジウムの開催(県外1回)	目標			首都圏1回	首都圏1回	首都圏1回		
		実績			首都圏1回	首都圏1回	首都圏1回		
	③ファシリテーターの育成(約2回程度)	目標					約2回程度		
		実績					2回		
	④共同学習(7つの参加国・地域が参加し、約8日間の日程による共同学習)の実施(オンライン含む)(年1回)	目標	5カ国、12日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間			
		実績	5カ国、12日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間			
進捗状況説明	①ワークショップについては、県外実施を増やしたことで、県内6回、県外12回達成し、目標を達成した。 ②シンポジウムについては、予定通り首都圏(東京都)で開催し、参加者に平和について考えて貰う機会を提供し、目標を達成した。 ③ファシリテーターの育成については、予定通り平和教育指導者養成講座を2回開催し、目標を達成した。 ④共同学習において、「平和構築に関する意識が高まった(目標70%以上)」をアンケートで検証し、理解が深まったと回答した者が94%となり、目標を達成した。								
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)		
	①ワークショップアンケートで「平和への理解がより深まった」70%以上	目標	-	70%	70%	70%	-		
		実績	-	97%	98%	98%	-		
	②シンポジウムアンケートで「平和への理解がより深まった」70%以上	目標	-	70%	70%	70%	-		
		実績	-	100%	100%	87%	-		
	③WEB公開と教材活用(Blu-ray貸出)開始	目標	-			20名分公開 Blu-ray貸出開始	-		
		実績	-			20名分公開 Blu-ray貸出開始	-		
	④共同学習参加者アンケートで「平和構築に関する意識が高まった」70%以上	目標	-	70%	70%	70%	-		
		実績	-	100%	97%	94%	-		
	達成状況説明	①ワークショップにおいて、「平和への理解が深まったか(目標70%以上)」をアンケートで検証し、理解が深まったと回答した者が98%となり、目標を達成した。 ②シンポジウムにおいて、「平和への理解が深まったか(目標70%以上)」をアンケートで検証し、理解が深まったと回答した者が87%となり、目標を達成した。 ③戦後の証言映像20名分(日本語版)をWebサイトから公開し、Blu-rayを製作して貸出できるようにした。 ④共同学習において、「平和構築に関する意識が高まった(目標70%以上)」をアンケートで検証し、理解が深まったと回答した者が94%となり、目標を達成した。							

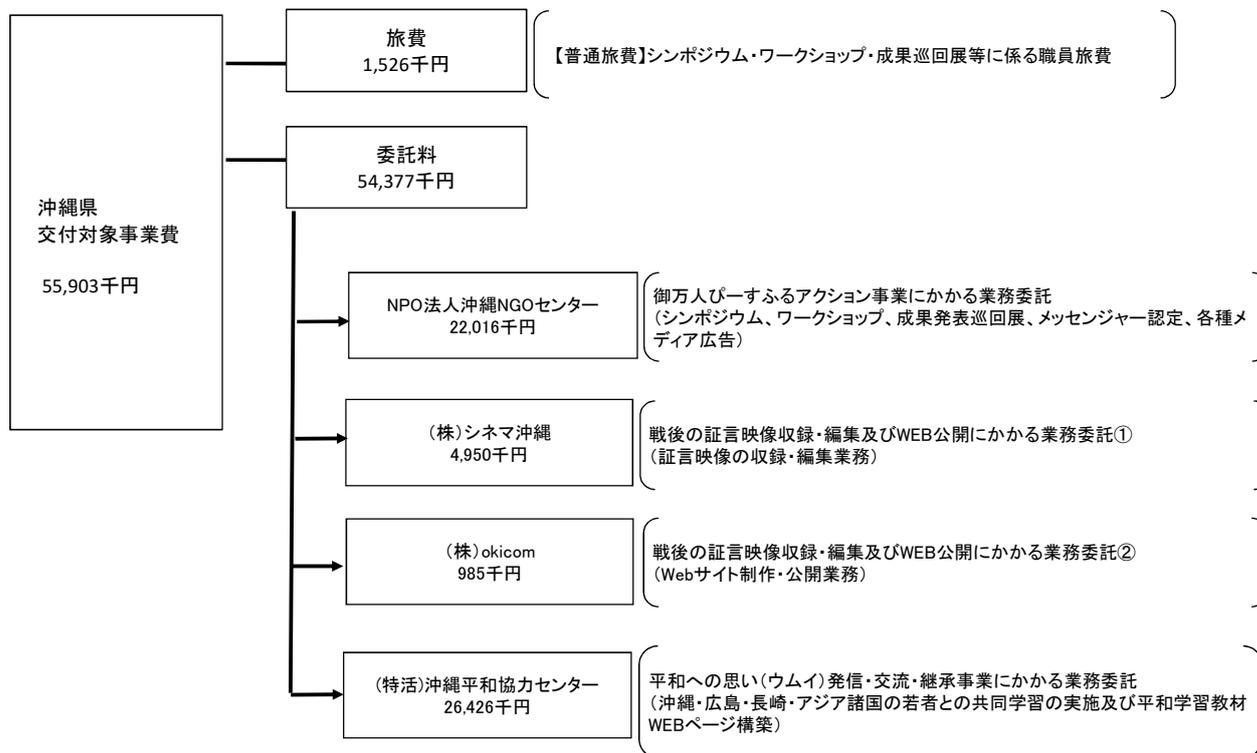
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証 ①世界の様々な地域に紛争が絶えることがない現状において、県内のみならず、国内や海外でも平和への意識が高まったものと推測される。 ②戦争体験だけでなく、戦後の復興に向かう人々の足跡やアメリカ施政権下におかれた沖縄社会の諸相の記憶の継承も証言者の高齢化等により困難になりつつあり、証言映像の記録は喫緊の課題である。 ③ワークショップ希望校、シンポジウムの集客及びワークショップやシンポジウムにおいて沖縄戦の実相や歴史的教訓を次世代へ伝える活動を担う「びーするふメッセンジャー」の応募者の継続的な確保が課題である。 ④R1年度から実施している本事業に参加した若者同士が関わり合える、ネットワークを強化する必要がある。	①②沖縄戦から現代に至るまでの繋がりを、現在の生活および今の沖縄が過去の歴史的教訓の上にあることへの理解を深め、平和を希求する「沖縄のこころ」を継承していくための工夫を今後も継続して取り組む必要がある。 ③共同学習を通して、アジア諸国と沖縄・広島・長崎の若者が共に学び、理解し合うことで多面的に繋がり、交流を深め、協力関係を築くことができた。今後も継続して沖縄と国内及びアジア諸国の若者との協力関係を築くことで、日本とアジア諸国の架け橋になることも必要となる。 ④共同学習で得られた成果を県民に還元し、多様な視点から平和について考える機会を提供する必要がある。

今後の取り組み方針

③児童生徒を対象としたワークショップの実施やびーするふメッセンジャーとの連携、証言映像の収録により平和学習の機会の提供と平和学習ツールの整備、歴史的教訓の継承に引き続き取組む。
 ①②戦争体験者を始め戦後沖縄の諸相を知る証言者も高齢化し、当時の記憶の継承が課題となっており、令和4年度に収録した戦後沖縄に関する20名分の証言映像(日本語版)を国内外に広く発信するため、証言映像の多言語編集及びWeb公開を行う。
 ③④アジアの若者による共同学習で得られた成果を県民に還元できるよう、過去に本事業へ参加した若者がオンライン参加できる機会を設定し若者による平和構築のネットワーク強化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
55,903	55,903	44,722	11,181	0	0	0



資金の流し、点検、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、一般競争入札又は公募型プロポーザル方式により体制、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
○	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・使途については、事業報告書等を検査し、適正である事を確認した。
-	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	